

成果指標評価表

管理番号	指標	質問・要望内容	回答	担当部長	担当課
3	循環バス・デマンド交通の年間利用者数	令和3年度の目標値の設定を高くした理由がわかりません。というか、とても高い目標値にしたのはなぜでしょうか？	当該計画を立案する直近実績や当時の運行形態などから設定しました。しかしながらその後、バス運転手をめぐる労働基準法の改正(H31.4月～)により就業時間の短縮や高齢化問題など運輸環境を取り巻く変化もあり、ご指摘のとおり、現在では高度な目標であったと感じております。	市民環境部長	生活安全課
4	研究支援件数	研究支援件数に対して、実際の成果はどうなっていますか。支援件数に対する成果件数はイコールでしょうか？	稲荷山伝統的建造物群保存地区防災計画策定調査等、市が大学と協働で調査研究を行った件数…2大学3件 大学等における博士、修士論文執筆に対する研究支援件数…4大学5件	教育部長	歴史文化財センター
11	遊休農地面積	達成判定が○に対して、達成・非達成理由の記載内容がマッチしていないと思います。○ならば、○とした達成理由を書くべきでは？	記載誤りのため、達成判定を×に修正いたします。	経済部長	農林課
11	遊休農地面積	遊休農地面積を目標達成としているが、補助金での達成理由のみで、ここ40年以上言われ続けている後継者不足に対する具体的な方策はないのか？	記載誤りのため、達成判定を×に修正いたします。 後継者不足については、新規就農者増加に向けて、県主催によるWEB就農相談会へ積極的に参加し千曲市を売り込むとともに、直接市に相談があった場合は、県の就農コーディネーターを交えて丁寧な対応をして、市への就農を促進しています。	経済部長	農林課
15 16 17	市内事業所数 製造業 事業所数 卸・小売業 事業所数	ともに減少傾向であるが、事業承継の取り組みは行われているか	好業績にもかかわらず廃業を予定している場合は、金融機関が事業承継に関与することが多いです。 それ以外は、長野県事業承継・引継ぎ支援センターの専門コーディネーターが地域に配置されており、後継者の問題、親族内の意見、資産・税制など様々な相談に応じております。本市でも事業者等からの相談等がありましたら、これらとも連携し対応しています。	経済部長	産業振興課
22	屋代駅・戸倉駅乗降客数	屋代駅近くに立体駐車場があれば良いと思います。駅が遠い人も車を停めて電車で移動できます。(パーク&ライドです)	現在、市で立体駐車場を建設する計画はありませんが、パーク&ライドも含めた便利な移動手段については検討が必要と考えています。なお、現在、シェアサイクルの実証実験を行っており、これらも通じて便利な移動手段の知識を深めてまいります。	経済部長	産業振興課
26	戸倉上山田温泉宿泊者数	コロナ以前より減少がみられている。他に考えられる理由は何か。	明確な理由はわかりませんが、以下の要因が考えられます。 ・観光スタイルの変化(団体→個人、節約傾向) ・毎年起こる自然災害 ・観光シーズンにおける天候不順 ・大イベント後の反動による減少 など	経済部長	観光交流課
32	市内事業所雇用数	市内事業者雇用数は、H29 25,992人⇒H30 23,336人と大幅減。にもかかわらず、1-5-1におけるa評価はなぜか？	この計画期間中に、近年にない大型の産業団地造成事業を2カ所行い、公民連携事業として地権者への説明から合意形成まで精力的に行いました。現在は、区画の販売が行われています。 雇用の創出に向けた企業誘致への成果があったことからa評価としました。	経済部長	産業振興課
35	創業件数	創業は順調に増加しているが、その理由は何か。また、創業後の定着はどうか。	若者個々の人生の選択肢が広がり、起業しやすい環境が整いつつあると考えます。(インターネットでの情報取得、創業スクールなど) 直近5年の起業者は定着しています。	経済部長	産業振興課
37	新規若年雇用者数	若年層の意識調査等は行われているのか。	若年層の意識については、職業高等学校の就職担当の先生、市が産学官連携を行っている大学、また、首都圏の有名大学の就職担当の先生から情報をお聞きし、傾向を把握しております。	経済部長	産業振興課
44	奨学金利用者数	この評価は、×が妥当である。	総合政策課が示した判定基準表どおりに、△(目標値には至らないが基準値を越えている)としました。	教育部長	観光交流課 教育総務課
45	合計特殊出生率	達成・非達成理由が、蓋然性を欠いている。科学的な分析を求める。	令和2年の全国合計特殊出生率は1.34に低下しており、厚生労働省においては、期間(1年間)合計特殊出生率の減少は、年齢別でみると29歳以下のマイナスが大きく寄与しているとの見方をしている。 千曲市においては、合計特殊出生率が全国より高い状況にあるが、25～34歳までの女性の人口減少が大きい状況にある。	健康福祉部長	健康推進課
48	ファミリーサポートセンターの年間利用者数	増加とあるが減少傾向に見えるが。	達成・非達成理由の記載内容を以下のとおり修正します。 制度の浸透はしているものの利用者数は横ばい傾向にあり、目標達成には至らなかった。なお、利用者数は利用頻度の高い児童の利用状況や他の支援策の拡充などにより、年度により変動します。	次世代支援部	こども未来課
60	不妊治療助成件数	不妊治療の実態把握はなぜ難しいのですか？	評価値は、市の助成全事業の申請者数であり、県の支援事業など他の機関での不妊治療等については把握できない状況にあるため実態の把握が困難。	健康福祉部長	健康推進課

管理番号	指 標	質問・要望内容	回 答	担当部長	担当課
62	不登校児童の割合	不登校児童・生徒の支援体制が欠落している。専門性の高い正規常勤のスクールソーシャルワーカーの配置を求める。	当市の支援体制は、教育相談室に5名(内1名は保育課所属)常駐し、幼保・小中学校からの相談支援に当たっています。昨年度は延べ1400件を超える相談が寄せられました。相談内容は、子どもの特性に係る相談や就学相談、学業、不適応・不登校等、多岐に渡っています。また、県教委から、スクールカウンセラーを市内中学校校区へ1名ずつの4名が、スクールソーシャルワーカーは本市単独で1名派遣されており、家庭支援を含めた相談支援に当たっています。この5名は心理士や福祉士等の有資格者であり、専門性の高い支援が可能です。	教育部長	教育総務課
62 63	不登校児童の割合 不登校生徒の割合	不登校児童、不登校生徒の割合は、年々増加の傾向でしょうか。統計的な分析や学校等への聞き取りで目標値を定める必要があるのでは。	当市の不登校児童生徒の割合は、国、県と同様に増加傾向にあります。正直、目標値を設定すること自体が大変難しいことであると考えます。目標値は前年度の数値を越えないことが妥当と考えます。	教育部長	教育総務課
68	事事件数	食中毒、事故は、あってはならない事象です。KYTトレーニングや職場安全衛生教育を実施すべきかと思えます。また、ヒヤリハット事例の教育も必要です。民間ですとこのレベルの件数はあり得ないです。	令和2年度において危険感受性を養うための事例やヒヤリハットの事例演習等、安全衛生に関する研修を実施しました。今後も事故防止に向けて着実な取り組みに努めてまいります。	教育委員会	給食センター
70	生涯学習の講座数と参加者数	コロナ以前より減少がみられている。他に考えられる理由は何か。	社会構造や生活スタイルの変化とともに趣味が多様化しています。一つとして各自の生活スタイルに合わせた趣味や学習を提供する媒体(オンライン講座や動画配信等)の増加により公民館講座等に参加しなくても居ながらにして学びたいことが、自分の都合に合わせて学べるようになりました。二つとして若い世代は集団活動より少数や個人の活動を好む傾向があるといえます。以上のことから減少になっていると考えます。	教育部長	生涯学習課
74	市の審議会等における女性の参画率	市の審議会等における女性の参画率について、目標値にはまだまだ(目標達成まで続けてください)。また、地域活動における女性の登用(特に災害時避難現場へ行く)あるいは出て手伝える環境を作ってほしい。	市の審議会等における女性の参画率については、引き続き、目標値の達成に向けて、各課等へ女性委員登用の働きかけなどを実施していきたい。市では、地域の方が積極的に女性を登用し、女性が活躍できる環境をつくってもらえるよう、啓発活動をしていきたい。	健康福祉部	人権・男女共同参画課
75	父親・母親の育児・介護休業取得	千曲市は男性が安心して育児・介護の休業をとれる仕組みづくり、実行し、企業などへの見本となるよう望みます。	千曲市男性職員の介護休暇の取得状況は概ね良好ですが育児休暇の取得状況は芳しくありません。取得しやすい環境と啓発に努めてまいります。	総務部長	総務課
75	父親・母親の育児・介護休業取得	長期スパンでの経過観察とは何か?何もしないということなのか?積極的な施策を求める。	当該事業は、まずは、より多くの市民への意識改革が必要であるため、成果指標として、すぐに数字に反映されるものではない。市の政策として、セミナーや広報活動による啓発活動をしていきたい。	健康福祉部	人権・男女共同参画課
81	福祉ボランティアのグループ数	全県的にみても千曲市の福祉ボランティア団体は明確に遅れている。抜本的な対策が必要である。	千曲市社会福祉協議会にボランティア・市民活動交流センターを設置し、団体の活動支援や育成、調整等を行なっています。今後は、先進地事例を参考にしながら、団体の活動を活性化させるための専門ボランティア等の人材育成の強化や団体運営の支援、団体同士の連携強化等に取り組み、質・量ともに充実を図ってまいります。	健康福祉部	福祉課
129	公共施設の保有量	災害対応、コロナ対応で公共施設の役割は増えている。蓄積こそ肝要であり、縮減目標は撤回すべき。	公共施設の縮減目標の設定は国からの指導に基づくものであり、市議会にもご理解をいただいております。将来的に持続可能な千曲市のため、地元譲渡を進めるなど計画通り進めてまいります。	総務部	財政課
131	市のフェイスブックのファン数	なぜ、投稿数が減ったのか。そもそも、1685件などというのは少なすぎて目標にもならない。	例年、ソーシャルメディア運営会議を開催して運営スタッフの研修を行い、投稿を促す取り組みをしています。令和2年度はコロナ禍の影響により、例年投稿数の多かった各種イベント、各種講座等の事業自体が中止になったため投稿数が減少しました。目標値は計画策定時(H28)の基準値(685件)をもとに、年間200件の増加を目標に定めた値です。	企画政策部	情報政策課
131	市のフェイスブックのファン数	減少とあるが、増加に見えるが。	ファン数は毎年増加していますが、目標値には達していない状態を「減少」と表現してしまいました。「令和2年度はコロナ禍の影響により、例年投稿数の多かった各種イベント、各種講座等の事業自体が中止になったため投稿数が減少し、目標を上回るファン数を獲得できなかった。」が適切な表現でした。	企画政策部	情報政策課

施策別検証表

管理番号	具体的施策	質問・要望内容	回答	担当部長	担当課
4	●新幹線新駅周辺エリアの広域交流拠点（ゲートシティ）としての機能強化を図ります。（総合戦略4-2①）	無となった新幹線新駅周辺エリアのゲートシティ構想の土地区画整理事業の今後の計画について様々な規制がネックとなっているようですが、開発する見込みはあるのですか？	現在、地権者で組織する土地区画整理組合設立準備会において、開発コンセプトや開発手法などを含めた「まちづくり構想案」の策定作業を進めていることから、その動向を注視したいと考えています。	建設部長	地域開発推進室
7	●上信越自動車道へのスマートインターチェンジの新設促進を図ります。（総合戦略4-1②）	屋代地区スマートIC整備事業を継続するにあたり、災害時の代替道路となるという事等だけでなく、大型商業施設の計画が無くなった今、市民がスマートICを必要であると納得できる大きな柱が必要と考えます。 第三次総合計画にはそのような柱の表記を望みます。 例えば千曲市内の農作物が手に入れられる大型道の駅（場所は川西地区）	上信越自動車道へのスマートIC新設につきましては、「①移動の円滑化・物流効率化の支援」「②災害時など緊急輸送への対応」「③高次救急医療の支援」「④周遊型や創作型観光の支援」「⑤広域交流拠点の形成」などの整備効果が期待されており、実現を目指す大きな柱と考えています。	建設部長	地域開発推進室
8	●姨捨スマートインターチェンジの24時間運用も含め、フル規格化の実現に向けた取組を推進します。（総合戦略4-1②）	毎月、及び年間の利用率を分析・把握してのフル規格でしょうか。柵田との景観バランス等、いろいろな問題もあると予想されます。また、地域住民は賛成多数でしょうか。	毎月ネクスコから利用者数データを収集し、月毎の推移を把握・分析するなかで、利用者数は順調に増加している状況です。 姨捨スマートICは現在、松本方面のみ利用可能なハーフインターであり、普通車以下の車種制限もあるため、地元が中心となって組織している「姨捨スマートIC推進協議会」では、フル規格化による更なる利便性の向上が望まれています。市としても、日本遺産となった姨捨の柵田を活用した観光振興や地域経済の活性化、さらには災害時の代替ネットワークの視点からも、フル規格化に向けた整備が必要と考えております。 現時点ではフル規格化に対するアンケート調査は行っておりませんが、積極的な情報開示や説明を通して地域の皆様のご意見をお聞きするなかで、安全面や景観などの課題についても慎重に対応しながら、地域住民の方に望まれるスマートICを目指して進めてまいります。	建設部長	建設課
8	●姨捨スマートインターチェンジの24時間運用も含め、フル規格化の実現に向けた取組を推進します。（総合戦略4-1②）	姨捨スマートインターチェンジ、フル規格化の実現に向けた取り組みを推進します。とありますが、フル規格化に向け、地滑り地域でもあると書かれていて、地質調査については十分な調査をしていただき、調査結果の丁寧な説明を求めたいです。利便性、集客も大切ですが、そこに住まわれている方々の命と生活が一番大切と考えます。フル規格化にすることが最善か十分な検討を望みます。	ご指摘の通り、姨捨スマートIC付近は地質状況が良好でないことから、フル規格化を検討するにあたり、地形や地質状況を十分把握したうえで、慎重に計画する必要があります。今年度実施予定の地質調査の結果についても、推進協議会の会報等を通じ、皆様に広く周知したいと考えております。最近多発している土砂災害の状況も十分に考慮し、地域に暮らすの方々やスマートICの利用者の安全確保を最優先に考え、フル規格化にすることが最善かつ確かな判断をしながら、慎重に事業を進めていきたいと考えております。	建設部長	建設課
13	【県道】●国道を補完する県道網の再編を要望します。	【県道網の再編】 県道森篠ノ井線の「将来的な戸倉方面への沿線整備」とは何を意味するのか	県道森篠ノ井線の延伸は、沿線の関係者で組織する「県道森篠ノ井線延伸整備期成同盟会」の要望を受けて、市としては現在、2段階の整備計画としております。第1段階としては、森地区での県道延伸整備を行い、第2段階ではその先から山を越え、植生・戸倉地区へ最短で結ぶルートとして延伸を計画しております。 植生・戸倉方面への延伸につきましては、通常時の利便性や、国道18号の渋滞緩和への期待だけでなく、観光ルートとして地域経済の活性化や、昨今の頻発化・激甚化する災害に対し、緊急輸送路や避難路としての役割も考慮し延伸計画を検討しています。現時点は第1段階を進めており、第1段階終了後に第2段階への移行となる予定です。	建設部長	建設課
20	●公園・緑地などの都市施設の整備を進めます。	公園内の樹木剪定、病害虫の駆除、遊具の点検（特に木製の遊具の老朽化）等、今後発生しうる維持管理費等については、どのように計画をしていますか。	樹木の剪定と病害虫の駆除については、定期的にも実施し、年間の予算を計上し対処しているところであります。また、遊具についても、市による月1回の日常点検と専門家による年1回の定期検査を実施のうえ、危険遊具などは使用を停止し、翌年度に修理費を計上しております。	建設部長	都市計画課
20 331	●公園・緑地などの都市施設の整備を進めます。 ●計画的な公園・緑地の整備と適正な活用を図ります。	【公園・緑地などの都市施設】 現在44ヶ所設置され、71区・自治会の中で無いところに必要の有無について意向調査が必要ではないか	地域要望のほか、市内公園整備状況等を総合的に勘案することはもとより、「市民意識調査」などを考慮しているところであります。	建設部長	都市計画課
25	●空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「空き家等対策計画」を策定し、空き家バンクによる利活用や危険空き家対策などを進めます。（総合戦略4-2③）	【空き家対策】 有効利用できない物件も多く、景観上も近隣住民にとっても迷惑であり、地権者に解体を促すべきではないか	空き家等対策特別措置法第14条第1項により（特定空き家等の所有者等に対し、当該特定空き家等に関し、除却、修繕、立木竹の伐採その他周辺的生活環境の保全を図るために必要な措置をとるよう助言又は指導することができる。）適正管理を促しておりますが、ご指摘の景観上の視点から除却を促すことはできない状況となっております。	建設部長	建設課
25	●空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「空き家等対策計画」を策定し、空き家バンクによる利活用や危険空き家対策などを進めます。（総合戦略4-2③）	空き家の状況確認はどのように実施しているか？ 所有者があり、不在の場合も数えるのか知りたい。 今後の活用について、具体例はあるか？	平成26年度に実施した調査結果と、空き家に関する通報を基に、実数を把握しております。令和2年度は建築士会に委託し空き家の危険度の判定を実施しました。今年度は市内空き家等の件数および空き家等の状態調査を、業者委託で実施します。 空き家等の判断基準は近所からの通報、住民票の有無、使用形跡の有無等を総合的に考慮し判断しています。 調査結果を基に、また市民からの通報により所有者に適正管理するよう通知しています。また空き家バンクへの登録、県や他部署等で行う施策を所有者に情報提供し、空き家の適正管理・有効活用を促しています。	建設部長	建設課

管理番号	具体的施策	質問・要望内容	回答	担当部長	担当課
25	●空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「空き家等対策計画」を策定し、空き家バンクによる利活用や危険空き家対策などを進めます。(総合戦略4-2③)	空き家対策は積極的に進めないと人口減少に伴い大変な問題となっています。私見としては、都会から移住したい人のための体験ハウスとして今後整備をお願いします。例えば1週間から1か月体験ハウスに住んでいただき、千曲市の魅力をオンラインで紹介したり、物件を紹介したり、様々な活動をサポートする仕組みを構築するものです。(費用は実費を徴収できます)	空き家等の件数を減らすための一助として、空き家バンクによる市内空家の有効活用に取組み、約5年が経過し、登録者・希望者数、契約成立件数ともに増加傾向にあります。ご指摘の体験住宅についてですが、観光交流課にて移住定住事業のメニューとして「お試し移住」があります。当課が取組む空き家対策と併せ、他課とも連携して取組んでまいります。	建設部長	建設課
26	●地籍調査事業を進めます。	勉強不足ですみません。なぜ地籍調査が必要なのでしょう。登記されていないから？土地境界が曖昧なままだから？	地籍調査の未実施地区において、現在法務局に登録されている公図は明治時代の地租改正により作成された地図を基礎に作成されています。この地図は当時の未熟な測量技術などの理由から面積や形状が現地と整合していない土地が多く存在します。こういった状況を是正するために、境界を確定し、正しい面積を測り、公図や土地登記簿を正しい形にすることが国土調査の目的です。地籍調査を行うことにより、土地の境界を明確にしておくことで将来相続や売買で所有者が変わっても境界トラブルを未然に防ぐことにつながります。道路整備などのまちづくりや計画・設計・用地買収など公共事業の円滑化にも役立ちます。また、正確な面積や地目を把握することにより課税の適正化が図れ、万一災害が発生し、家屋等が消失した場合には測量した座標値をもとに境界を正確に復元し、復旧活動に迅速にとりかかることが可能になるなどの効果があります。	経済部長	農林課
27	●しなの鉄道「戸倉駅」のバリアフリー化や新幹線との接続に配慮したダイヤをしなの鉄道に働きかけ、利便性の向上を図ります。	金額費用は、妥当でしょうか。金額の妥当性がわかりません。100万円/月とした場合、19人月程度となりますが。	しなの鉄道(株)が事業主体であるため、事業主が国土交通省監修の積算基準(設計業務等標準積算基準書)等を活用して積算をした設計書により、当該入札実施結果に基づいた額が、当市相応負担額となりますので、妥当と考えております。	市民環境部長	生活安全課
29	●循環バス等のダイヤ・ルートの見直しを継続して行うとともに、公共交通網形成計画を策定し、利便性の向上と効率的な運行を図ります。(総合戦略4-2④)	免許返納者の増加が今後さらに見込まれ、公共交通機関は重要と考える。バスダイヤ、同時時間帯の本数が多い。利便性の向上が望まれる。	現在、千曲市では運行事業関係者の方だけでなく、老人会の代表者や区・自治会代表者、警察関係者の方など公共交通について考える各方面より選出した方々で構成する「地域公共交通活性化協議会」を設置しております。当該協議会の中で、各方面より意見を頂く中で「千曲市地域公共交通網形成計画」を設け、各種まちづくり計画と連携した持続可能な公共交通ネットワーク形成を目指しております。当該計画に基づき、地域公共交通の確保・維持・改善を図る中で、利便性の向上等についても、より良い運行形態、ダイヤ設定などを目指してまいります。	市民環境部長	生活安全課
33	●市街地誘導地区の開発を推進し、都市基盤の整備に努め、大型商業施設等が建設され、まちの賑(にぎ)わいが創出されるよう、より高度な土地利用を目指します。(総合戦略4-1①)	無となったイオンモール跡地の今後の計画について具体的に説明してほしい	現在、地権者で組織する土地区画整理組合設立準備会において、開発コンセプトや開発手法などを含めた「まちづくり構想案」の策定作業を進めていることから、その動向を注視したいと考えています。	建設部長	地域開発推進室
33	●市街地誘導地区の開発を推進し、都市基盤の整備に努め、大型商業施設等が建設され、まちの賑(にぎ)わいが創出されるよう、より高度な土地利用を目指します。(総合戦略4-1①)	土地利用の用途が一部に限定されるようですが、先の5月27日の会議でも意見・要望として発言したIT及びICT・IoT及びDXの開発拠点にぜひお願いしたい。(要旨と主旨は別紙に記載) <以下主旨より転記> 私案ですが、イオンモール跡地には、最新データや世界情勢を鑑みて、IT・DXの専門学校の誘致を実現したいと考えております。(例えば、東京の工学院専門学校の高野校など)産・官・学の連携でアメリカのITタウン(シリコンバレー)のような街づくり、(仮称)杏パレー構想はいかがでしょうか。千曲市には長尾電子のようなデジタル産業もあります。この卒業生を積極的に採用する受け皿さえあれば学生の街にもなり、若者文化も育つ移住先No.1になるかもしれません。	現在、地権者で組織する土地区画整理組合設立準備会において、開発コンセプトや開発手法などを含めた「まちづくり構想案」の策定作業を進めていることから、その動向を注視したいと考えています。	建設部長	地域開発推進室
33	●市街地誘導地区の開発を推進し、都市基盤の整備に努め、大型商業施設等が建設され、まちの賑(にぎ)わいが創出されるよう、より高度な土地利用を目指します。(総合戦略4-1①)	新たな「まちづくり」に取り組むひとつとして、SDGsを視野に入れた構想を盛り込んでいるか？ ◆電子農業… 将来の気候変動を見込んだ安定生産。情報産業の展開。 ◆電力安定… 情報社会に電力は不可欠。脱炭素においても有効。	現在、地権者で組織する土地区画整理組合設立準備会において、開発コンセプトや開発手法などを含めた「まちづくり構想案」の策定作業を進めていることから、雇用や税収などの経済的価値、防災や子育てなどの社会的価値、自然環境や低炭素などの環境価値、こうしたSDGsの3つの側面を踏まえたバランスの取れた持続可能な開発を目指すよう誘導したいと考えています。	建設部長	地域開発推進室
44	●信州千曲ブランドの認知度向上と高付加価値化(プレミアム化)を促進します。(総合戦略1-2③)	インターネット販売や高級物販サイトへの登録による高付加価値の促進を図っているか？	インターネット販売や高級物販サイトへの登録は行っていません。	経済部長	観光交流課
63	●学校、家庭、社会教育機関、地域社会等との連携により、給食への地場産農産物の利用拡大や健康的な食生活の推進に努めます。	当祭りで収穫したタマネギを販売したりなどで地場産農産物の消費拡大に繋がった。と実施成果に書かれているのに、次期計画の方向性には見直しとなっていて、当祭りの継続は無理だったのでしょうか？今後の方針を検討はもちろん必要ですが、成果が出ているものへ継続できる事に力を注いでもらいたいと思いました。	当祭りは例年開催されており、人気のイベントとなっていたが、令和2年度になり、タマネギを栽培している土地の売買の話があったことや主催グループの高齢化によって今後のイベント廃止が余儀なくされました。	経済部長	農林課
65 66	1-3-1 ●農林業を地域でともに支え、振興する	千曲ブランドの創出事業としては、①杏の里の復活事業②嫉捨棚田米及び周辺整備事業③大田原地域のそば整備事業が重点施策と考えています。その対策としては若手農業育成とオーガニック農法が今後の主流であり、その対策は考えています。	国でも有機農業を推進し、市内の若手農家で有機農業に取り組んでいる方がいます。ただ、有機農業の場合、収量の確保や労力に見合った所得が確保できるか課題であり、積極的に推進していくためには、もう少し栽培技術の向上が必要と思われます。	経済部長	農林課
67	●多面的機能を十分に発揮させるため、農地の計画的利用を進めるとともに、農道・用排水路・農業用施設などの農業生産基盤の整備や適切な維持管理を地域と進めるほか、土壌等の環境に配慮した持続可能な農業生産方式の普及に努めます。	空土地の利用については、景観を損う遊興施設より、次の世代を担う技術習得施設として活用するほうが発展的ではないか？ ※JA青崎中央では、農業継承の実践農場として農活している。	荒廃農地を活用できるかは別として、そういった施設は有効かと思われます。JAながのと相談していきます。	経済部長	農林課

管理番号	具体的施策	質問・要望内容	回答	担当部長	担当課
68	●地域ぐるみの維持管理体制の構築により、遊休農地の解消・拡大防止や鳥獣被害対策を推進するとともに、農業体験交流活動など都市農村交流の創出により、農業・農村の持つ多面的機能の理解促進に努めます。	【棚田対策】 昨年6月、日本遺産となったが地権者には協議も報告もなかったと聞いているが連携が必要ではないか	日本遺産認定に際しては、新規認定の募集が昨年度をもって当面最後であったことから、文化庁の審査委員会の審議に付すため時間的余裕がなく、地権者への協議・報告ができなかった。 地権者との連携は不可欠であるため、今年7月15日に地権者等への説明会を開催する。	企画政策部長	日本遺産推進室
74	●野生動物と共生するため、必要な保護や適切な個体管理を進めます。	近年熊による被害等が全国で報告されています。熊の対策はどうなっていますか。猿による被害も同様です。 また、住宅街では、カラス、鳩、ハクビシン等が増えています。鳥インフルの危険性や、糞尿被害、ゴミ袋中の生ごみ漁り等、目立つようになってきています。	市内の里山においては、各地域による有害鳥獣防護柵の設置に対する助成(現物支給)を進めております。クマの出没報告については年1~2件程度であり、情報が寄せられた場合は注意看板の設置や地域住民・学校等への情報提供、猟友会によるはこ糞設置、見回り等実施していただいております。ニホンジカやイノシシについては毎年多数情報寄せられており、鳥獣被害対策実施隊と連携して対応しております。その他小動物につきましては、市報で注意喚起等しておりますが、空き家対策、ごみ捨てのルールの順守や畑等へ生ごみを捨てない、柿等の果実は適切に管理するなど、その地域住民の皆様のご意識も大変重要となります。 なお、猿につきましては、県より群体の推移などの情報提供はありますが、倉科や土口で単体での出没はあるものの、住環境・農業被害は確認できておりません。	経済部長	農林課
74	●野生動物と共生するため、必要な保護や適切な個体管理を進めます。	猟友会の高齢化による個体管理の限界について、対策はどういうものがあるのか知りたい	猟友会の会員の確保・育成事業として、県・県猟友会が中心となり、ジビエ料理体験の場などにおいてPRをしたり、ハンター養成講座の開催など実施しております。 また、令和2年度より、長野森林組合において、県の助成事業を活用しながら林業被害防止のための有害鳥獣他被害対策事業を試験的に実施しており、今後、推進されることを期待しております。	経済部長	農林課
92	●地域密着型の小規模な企業活動(コミュニティビジネス)をNPO・大学などと連携して支援します。	「柔軟に対応してまいります。」では、具体性に欠けると思います。	ご指摘のとおり次のとおり改めます。 地域課題の解決を「ビジネス」の手法で取り組むものであるため、学生個々の自由な発想を取り込み、参加者と共有しコミュニティビジネスが発展するようサポートします。	経済部長	産業振興課
93 96 109 110 111	1-4-1 人を迎え、もてなす心とまちを育てる 1-4-2 だれもが長い時間楽しく過ごせる、観光と交流のネットワークをつくる	次世代型の観光産業は①観光と健康②観光と体験③観光とスポーツ 以上を重要テーマとして考えたプランが必要とされます ①観光と健康: 上山田温泉を中心としたテーマです。温泉を利用しながら毎日の健康プログラムを指導受けるもので、医療福祉大学や企業との連携にて実施します。健康セミナーも受講できます。 ②観光と体験: コロナ禍においてアウトドアのキャンプが目立っています。千曲市には大池キャンプ場や聖高原キャンプ場があります。安心・安全・安価なキャンプ需要も積極的にPRしましょう ③: 観光とスポーツ: 脱炭素時代に向かって千曲市としては自転車人口を増やすことです。道路における自転車レーンの整備。千曲川堤防道路を利用したサイクリング大会や全国からチャリダーを集めた「千曲市ロードサイクル全国大会」などが実現できればと考えています	コロナの影響により、観光のスタイルも変わってきていますので、観光客のニーズの把握と分析を行い、農林課・スポーツ振興課等及び関係団体と連携をとりながら、観光客獲得のための施策に取り組んでまいります。 ※聖高原キャンプ場は麻績村	経済部長	観光交流課
97	●市内を5つのエリアに分け、観光客や地域住民が散策、回遊の途中で千曲市の魅力に触れあえるスペースとして、「道の駅」や「観光ガイド拠点」、「エリアごとの拠点」の設置等を目指します。	日本遺産センターの見直しとありますが、具体的にはどのようにしていくのか、今後の活用方法を教えてください	日本遺産センターの見直しではなく、「エリアごとの拠点」の設置について見直すものです。 日本遺産センターは、後は日本遺産の案内をはじめ食堂を設置するなど、観光拠点の一つとして活用する計画となっています。	経済部長	観光交流課
99	●観光客の移動における快適性を向上させるため、利用しやすさを重視した地域内交通のあり方を見直すとともに、必要な整備・充実を図ります。また、周遊を可能とするような二次交通について関係者との連携を図ります。	シェアサイクル(戸倉、おぼすて、屋代、上山田)。おぼすてまでこいで行って、お店も何もかも無い。実験結果は?	7月1日から約半年間の社会実験を行い、効果検証はその後実施します。 日本遺産センターは、本年11月頃に食堂をオープンする予定です。	経済部長	観光交流課
109	●オール千曲として市内全域をカバーし、個々の体験型プログラムに関連性を持たせる仕掛けづくりを行います。(総合戦略2-2②)	見直しとなっていますが、個々の体験型プログラムに関連性を持たせる仕掛けづくりというところに魅力を感じます。コロナ禍の中、大規模イベントは難しいと思いますが、小規模な家族向け体験イベントのような形のもので、1年間を通じ企画があり、千曲市の四季を感じられる、そんなイベントがあったらと思います。他地域の成功例も取り入れて欲しいです。	他地域の事例等について、調査・研究をしながら、新しいイベント等を他課と連携を図り、開発・実施してまいります。	経済部長	観光交流課
124	●生活環境・子育て環境・住環境・雇用環境の改善を図り、豊かな自然環境の中で、いきいきと暮らしていくことができる魅力を発信して、選ばれる千曲市を創出します。(総合戦略2-1①②)	【若者の移住について】 市道千曲線の開通により、周辺地域の利便性が増し、埴生小、五加小の児童数も増加している。これに対する対策として、いささか利益誘導になるかもしれないが、千曲市中、小船山の用途地域の見直し(白地地域の解消)、住宅開発を一層誘導すべきと考える。	用途地域の見直しや住宅開発の誘導など、まちづくり施策に関わることで、庁内関係課(教育委員会、建設課、都市計画課)と連携した取組が必要と考えます。	経済部長	観光交流課
124	●生活環境・子育て環境・住環境・雇用環境の改善を図り、豊かな自然環境の中で、いきいきと暮らしていくことができる魅力を発信して、選ばれる千曲市を創出します。(総合戦略2-1①②)	結局のところ、市自体に魅力がないと転入は見込めない。 これからの担う「子育て」「学校教育」の分野で、「子供連主体」の支援を拡充することで、発展できるのではないかと ※子育て支援は行われているが、「通いたい」と思える学校作りが必要!	子育て支援や学校教育に関わることで、庁内関係課(教育委員会、こども未来課等)と連携した取組が必要と考えます。	経済部長	観光交流課
125	●若手起業家を支援する制度を活用し、研修や情報提供などの取組を充実します。	コロナ禍で本業を手放し、新たに起業する人が増えると思います。『若手』起業家の支援の『若手』という言葉は外した方がいいと感じます。	ご指摘のとおり改めます。	経済部長	産業振興課

管理番号	具体的施策	質問・要望内容	回答	担当部長	担当課
131	●「子ども育成条例」に基づき、地域をはじめ、社会全体で子育てを支え合う意識の醸成に努めます。	以前は「ごちゃまぜ Cafe」を例とする、学校に通いづらい人や障碍(害)を持つ人が気軽に集える場所があったが、経営補助がなく店じまいした。有用店や施設に対する支援措置はいいのか？	市では、福祉活動に対する支援はありますが、ご意見の内容に沿う支援措置はございません。また、事業者から市に経営等の相談があった際は、産業支援センターでお話しをお聞きし、制度の紹介や関係機関へ繋ぐなど対応しております。	次世代支援部長	子ども未来課
137	●社協が運営する「結婚相談所」や企業、団体などと連携し、市民の婚活を支援します。(総合戦略3-1④)	市主催の婚活イベント、千曲市外の女性や千曲市内の男性のもとへというコンセプトが見受けられる。男女共同参画社会に向け見直す必要があるのではないか。	千曲市も参画する長野圏域8市町村連携による婚活イベントでは、「移住婚活ツアー」などの企画内容があり、女性は圏域外在住などの要件を設ける場合があります。	次世代支援部長	子ども未来課
139	●結婚から子育てに至る相談等に対応できる「ワンストップ拠点(千曲市版ネウボラ)」を設置し、相談者の生活過程に応じた適切な支援を行います。(総合戦略3-1①)	結婚から子育て、自立、高齢者に至るまで、性差(ジェンダ)による視点の違いから、意見の行き違いや虐待につながる場合が多い。精神面への心の育成支援を図れないか？ ※ワーク(仕事)・ライフ(生活)・バランス(調和)が広まっているが、ライフは「子育てを含む家事」で、自分を見つめる自由(プライ)がなく逼迫している。	子育て家庭への養育支援はご家族に対して行っており、家庭内での子育てに係わる認識が等しくなるように精神面も含め行っております。また、子育ての孤立化や負担感の軽減を図るために、子育てサービスなどの情報提供を行い必要な支援に繋げております。	次世代支援部長	子ども未来課
156	●「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた生きる力を育成するため、指導体制の充実、教員の資質向上や学校支援体制の整備を図ります。	知識や記憶に重きを置いた教育方法は現代に対応できていません。子供達とともに教え合って楽しく向上し、教員はその支援に回る方法が望まれます。不登校者が増えているのは、なぜでしょうか？ ※授業形式だと飽きたり、遠くの理解できていない友達を助けることすらできません。悩んでいる人に気軽に声を掛けて歩む方が人間的です。	不登校者数の増加については全国的な傾向であり、原因は多岐にわたっております。ご指摘のとおり、学習のつまずきから不登校になっている児童生徒も一定割合おりますが、多くは他者との関係(対人関係等)や個人に係る問題(無気力、生活リズムの変化等)が大半を占めています。学力に関しては文科省で狙っている「主体的・対話的で深い学び」への授業改善に向けて取り組んでおります。	教育部長	教育総務課
157	●幼保小中の連携の強化を図るとともに、「小中一貫教育」に関して調査研究を進めます。	【小中一貫教育について】 施策内容として「基礎学力の向上」が謳われている。具体的施策として「小中一貫教育」に関して調査研究を進めるとある。「小中一貫教育」を進展させ、公立の「小中一貫校」を開設すべきと考える。通常の中学校は、複数の小学校が一緒になり、一中学校が構成されています。千曲市植生中学校は市立植生小学校の卒業生であり、一小学校、一中学校で構成されている。公立の小中一貫教育ができる「小中一貫校」を開設することで、「教育の千曲市」をアピールできると考える。	小中一貫教育とは、小学校と中学校が目指す児童生徒像を共有し、9年間を見通した教育課程を編成し、また指導方針を共通理解し系統的な教育を行うシステムです。現在、千曲市では中学校区ごとに情報交換が行われ、小中の接続がスムーズに行くよう(例えば学習や生活のルール等)連携が図られています。現状では、学校施設が分離しているため、教職員の負担増とならないよう可能な範囲で連携していくことが重要と考えます。	教育部長	教育総務課
157	●幼保小中の連携の強化を図るとともに、「小中一貫教育」に関して調査研究を進めます。	幼保小中の連携がとれてなく、小さい頃の状況が小中学校で活かされていません。小中学校の先生の方が上位と感じる場合がありますが、自由奔放な子供達を率いている、幼保の先生の方が柔軟で豊かです。小中学校の先生が幼保の現場へ行って交流することで、子供達の本質を捉えることが必要なのではないでしょうか？	幼保・小・中が連携していくことは、大変重要であると考えます。現在、幼保と小、小と中は、定期的な連絡会が開催され、授業参観をしたり、様々な情報交換がされています。今後も、幼保小中それぞれの先生のごよさ、発達段階に合わせた指導のあり方研修を深めていきます。	教育部長	教育総務課
158	●外国語教育の充実と自国文化や異国文化への理解を深めます。	英語を基本とする外国語または外国人との交流については、あくまでも理解に留めるだけで、その言語で話して疎通を図るところまで目指していない感じがします。どこまでの段階を期待しているのか不明です。	学習指導要領に示されている目標では「外国語による聞く、読む、話す、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する」となっています。各校においては、その達成に向けて取り組んでおります。また、市として具体的施策で記載した内容を外国語指導助手の配置により実施しています。	教育部長	教育総務課
159	●ICTを効果的に活用し、情報活用能力の向上とICT教育の充実を図ります。	情報技術については、残念ながら教員の殆どが熟知していないのは、教科書の通りに進んできた過去による結果とも捉えられます。閉鎖的にならず、市民の専門支援員(ボランティア)を育成し、活用すべきではないでしょうか？ ※屋代小と屋代南高校は、高校生が教えに行くのも可能だと思います。	1人1台端末が導入され、教員と児童生徒ともに授業に使用し、学習に役立て使い方も上達しています。市教委からも指導主事が学校に出向き、児童生徒が帰ったあと等に教員が研鑽に励んで上達している状況であります。将来的にボランティアを活用していくかは、現場と協議の上検討してまいります。	教育部長	教育総務課
161	●豊かな感性と想像力等を高めるため、読書活動の充実を図ります。	全体的に活字を読まない傾向にあります。感覚では動けるとは思いますが、活字を読み解く想像力が低下し、感覚と結果が伴わないことが多くなってきているのではないのでしょうか？ 文章の読み解き方、音読による五感の発達を促進してほしいものです。	市立図書館においては、子ども読書活動推進のため、週に1度の「おはなし会」を実施し、乳幼児期からの読み聞かせや活字に親しむ機会の創出を図っています。また、ゼロ歳児や小学一年生に対して、発達段階に応じた本を贈呈する「ブックスタート事業」「セカンドブック事業」の実施、児童館への市立図書館蔵書の配置も行っております。今後も引き続き子ども読書活動の推進に努めてまいります。	教育部長	生涯学習課
163	●道徳教育、人権教育の充実を図ります。	物事のよし悪しを知るには説明も必要ですが、実体験を通すことで実感に変わると思っています。そのためには交流や対話が不可欠で、教員による強制的な指導で身に付くなら問題は起こらないのではないのでしょうか？	知・徳・体を一体的に育むためには、教師と子ども、子ども同士の関わり合い、自分の感覚や行為を通して理解する実験や実習、地域社会での体験活動等、様々な場面でのリアルな体験を通じて学ぶことの重要性は、今後益々重要となりますので、大事にして参ります。	教育部長	教育総務課
165	●児童生徒の不登校やいじめなどの問題行動等に幅広く対応するため、教育相談体制の充実を図ります。(総合戦略2-5①)	中学校卒業で途切れてしまわないように、障がい者、引きこもり等の人々に生涯を通じて一貫した支援が望まれる。	卒業後も支援が必要と思われる生徒については、中学校在籍時より福祉課、子ども未来課など、卒業後の相談先となる関係機関への繋ぎを在籍時より行っています。	教育部長	教育総務課
166	●乳幼児期からの相談支援体制の整備を図るとともに、障がいのある児童生徒一人ひとりにあった適切な相談・支援体制の充実を図ります。				
168	●児童生徒が、いきいきと学習や生活ができる、安全で快適な教育環境づくりを進めます。(総合戦略2-5②)	千葉の交通事故を教訓に、市内にある幼稚園・保育園・小・中学校等の登下校時の安全・安心はどうか？ ガードレール等の設置の必要性は？現状と危険地区は？	毎年小学校に入学する児童の保護者宛に配布する「入学に備えて」の中で、入学前に親子で通学路を歩き、危険箇所の確認等することをお願いしています。また、「通学路安全プログラム」に基づき、各地区の子どもの安全を守る会、学校、警察署、道路管理者、生活安全課が連携してグリーンベルト、歩道、信号の設置等お願いしています。しかしながら予算の関係や地権者や県・国との協議事項もあり時間を要するのが現状です。	教育部長	教育総務課

管理番号	具体的施策	質問・要望内容	回答	担当部長	担当課
169	●安全で安心な学習環境を確保するため、学校管理体制の整備や防犯教育、施設整備・設備の充実、教職員などの危機管理意識の向上に努めます。	県立南高の南側道路の拡幅について。すでに話の始まりから3年位経過しているが、具体的に何ら進展していない。どうなっているのか？具体案を提示願いたい。	(建設課作成) 用地測量及び補償調査は済。 用地測量を実施したところ、高校敷地内に県所有地と市所有地が混在していることが判明し、道路拡幅事業に併せ土地交換の手続きをするよう、屋代南高校と協議を進めている。 現在は土地交換のため、それぞれの所有地面積を確定するための測量を実施している。R3には、土地交換・用地協議が整う予定。 R4以降、補償物件の移転を経て工事に着手する予定。	教育部長	建設課
170	●人材の育成や産業の振興、若年人口の交流と定着を図るため、高等教育機関の誘致を検討します。	【高等教育機関の誘致】 県内には薬科大学がなく、若手の活力をつくりだす為にも具体的調査を進め誘致を継続すべきと考える	少子化が進む中、さらに新型コロナウイルス感染症の影響により学校に行かなくてもオンラインで授業が受けられるなど高等教育機関の在り方が変化しています。高等教育機関の誘致により、千曲市がどのように発展するのか、誘致の必要性などを検討していきたいと考えます。	企画政策部長	総合政策課
173	●保護者や地域住民の信頼に応えつつ、家庭や地域と連携して子どもたちの成長を支えていくため、地域に開かれた学校づくりを進めます。	学校によっては、実施する雰囲気だけ出しておいて、地域ボランティアに声が掛からないことすらあります。 また、他校からCSが進んでいる学校に転任して来ると、校舎内にいるボランティア支援員に煙たい顔をする先生すらいいます。 表向きの学校が多く、どれだけ浸透しているのでしょうか？	現在、千曲市内すべての小中学校で「千曲型コミュニティスクール」が推進され、地域とともにある学校づくりが進められています。学校と地域が様々な課題を共有しながら子どもたちのために多くの活動へ参画していただいています。どの学校でも、参画していただく方々の高齢化が課題となっています。	教育部長	教育総務課
174	●学校と地域が一体となって子どもを育てる、千曲型コミュニティスクールの推進と充実に努めます。(総合戦略2-5①)	今コミュニティスクールスタッフとして活動していますが、スタッフの高齢化による担い手不足の課題を感じています。市で担い手の育成やコミュニティスクールの市民への周知などの所の推進と充実を支えていただけないでしょうか？(教育委員会との兼ね合いもあるかと思いますが、連携していける部分で)	担い手不足の課題は承知しております。コミュニティスクールのPRは学校とも連携して取り組んでまいります。	教育部長	教育総務課
175 176	●地域との連携やさまざまな教育活動への参画を図るため、学校評議員制度の充実を図ります。 ●教育活動の成果の検証と住民参画に資する情報を共有するため、学校評価制度の充実を図ります。	【学校評議員制度廃止と学校評価制度】 廃止の理由と学校評価制度で学校の何を評価するのか	市内すべての学校でコミュニティスクールの体制が整い、学校運営委員会が設置されましたので、学校評議員制度は廃止しました。 また、学校評価制度は、当該学校の教育活動その他学校運営の状況について、保護者・地域と連携しながら評価し、来年度への教育活動へ反映させるべく実施しています。	教育部長	教育総務課
177	●子どもたちを犯罪被害から守るため、家庭や地域と連携した取組を進めます。	子供達の遊びや行動による「事故」の項目がないのは不思議に思います。 特に放課後、水路などで遊ぶ姿も見受けられ、深みに落ちて流されない程度の環境なら、宥赦した方が遊びを奪わずに良いのではないかと？ 注意喚起するくらいで、自由に遊べる寛容さや設備も必要だと考えられる。 ※矢印信号がなく、渋滞して交通事故を誘因しかねない交差点もある。	子ども時代の野外体験が、生きる力を育くみ、豊かな人間性へ寄与することは承知していますが、一方で危険と隣り合わせの部分があり、どのようにバランスをとっていくかが課題になると思われます。	教育部長	教育総務課
178	●通学区制度の弾力化について、必要に応じて調査研究を進めます。	次期計画への方向性が、「見直し」にした理由が不明です。なぜ現状のままではダメなのでしょう。何が問題なのか、だから見直す、と理論立てた説明が欲しいです。	原則通学区は維持していく方向ですが、学校の地域性を保つためなどのようなことが考えられるか、指定校以外の入学するための判断基準を研究するという意味で「見直し」とさせていただきます。しかし、現在のところ通学区の変更はする予定はありませんので「継続」とさせていただきます。	教育部長	教育総務課
178	●通学区制度の弾力化について、必要に応じて調査研究を進めます。	学校選択の多様化の中で、地域での子供の活動に難しさがある。都会では地域の子供、学校との関係はどう図られているか等、研究の余地があるのではないかと。	都市部の学校がどのように地域と繋がりをもって学校運営しているか研究していきます。	教育部長	教育総務課
180	●安全で安心な学校給食の提供に努めるとともに、学校・家庭と連携し食育を推進します。	労働無災害記録を日々カウントし、玄関等に掲示する。そして、職員の安全意識の向上を図る必要もあるのではないのでしょうか。	ご意見を参考に引き続き職員の安全意識の向上に努めてまいります。	教育部長	給食センター
182 183	●基本的な生活習慣や社会的マナー、自制心、自立心などの育成を図るため、家庭、学校、地域等が連携して、家庭教育に関する学習の機会や情報提供を進めます。 ●青少年の団体生活におけるマナーの向上及び主体的な活動意欲の醸成を図るため、生活体験型の交流事業などを進めます。	【学校・家庭・地域等の連携】 連携を否定するものではないが、家庭教育に関する学習の機会や情報提供は市の「家庭教育支援条例」に基づいて実施されると思う、そもそもこの条例は公の家庭への介入の恐れがあり、さらに条例の12条・13条は親の内心に関わるもので憲法違反の疑いがある。よって条例がなくともこの事業はすべきと考える	子どもの教育に第一義的責任を有する保護者への支援が主眼であり、公から家庭への介入を行う性格のものではありません。 本施策で取り組んでいる各事業につきましては、条例施行以前は一見別々に見える事業でした。それを家庭教育支援という共通する側面で見直しすることで、それぞれが大きな目的に連なる大切な事業であり、連携が重要である点も理解されるようになったと考えています。	教育部長	生涯学習課
191	●スポーツ活動への積極的な参加や芸術活動に触れる機会の提供を図ります。	千曲市市民体育祭については、人が集まらず、半ば強制的に参加している区民もいます。また、人集めが大変とも聞いています。一度アンケート等をとってみて、今の時代必要なのか等、現状把握をしたらどうでしょうか。	市民体育祭の参加者につきましては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、872名の参加となりましたが、その前5年間の実績では毎年2,000名を上回る多くの市民にご参加をいただいております。体育祭を担当している千曲市スポーツ協会では、人数が集まらない状況には無く、今後も継続していく考えであります。市としましても、多くの市民がスポーツ活動に参加できる貴重な事業であり、更に充実した内容で継続して参りたいと考えています。	教育部長	スポーツ振興課
191	●スポーツ活動への積極的な参加や芸術活動に触れる機会の提供を図ります。	市営球場の建設を強く望みたい。県内でこの施設がないのは千曲市と茅野市だけ。スポーツの県大会や全国大会、更に国体と…。市の活性化、ブランド力にもなるので是非に。	市営野球場の必要可否を含め、千曲市総合運動公園構想において検証し、策定してまいります。	教育部長	スポーツ振興課
205	●千曲川ハーフマラソンを、千曲市を発信する特色あるイベントに育てるとともに、交流人口の増加に資するスポーツイベントを開催します。(総合戦略2-2①、5-1②)	令和元年災害により中止、令和2、3年はコロナにより中止。令和2年市町村駅伝(千曲市出場辞退)、おぼすてマラソン3年間中止。 人の命が一番大切だとわかっていますが、人数制限をしたり予防策を講じて開催することは千曲市の魅力を発信することにおいても大きな機会になると思っています。	委員の質問にもありましたとおり、各種ロードレース大会の中止や出場辞退につきましては、令和元年度は水害の影響、令和2～3年度は新型コロナウイルス感染拡大により、命と健康を守ることを第一に考えたものであります。規模縮小も含め感染対策を講じての大会開催も検討しましたが、日本陸上競技連盟が策定しているガイドランスに沿った大会の開催が困難であること、ランナーを含め大会に関係する全ての方々へ安全・安心の確保が困難であることから中止の判断をしました。中止に伴い、大会および千曲市のPRにつながるような代替イベントを、令和2年度同様に本年度も実施予定であります。今後の開催においては、千曲市の魅力が発信でき、多くのランナーに愛される大会を目指したいと考えております。	教育部長	スポーツ振興課

管理番号	具体的施策	質問・要望内容	回答	担当部長	担当課
208	●老朽化が進んでいる戸倉体育館は、野球場建設などを含む総合運動公園構想の策定を進め、その実現に向けた調査・研究に取り組みます。	野球人口が減っていると認識していますし、グラウンドもたくさんあります。なぜ野球場が必要なのでしょう。それよりも老朽化している市民プールを改修したらどうでしょうか。夏場だけの利用ですが。	市営野球場の必要の是非を含め、千曲市総合運動公園基本構想において検証してまいります。市民プールにつきましては、公共施設個別施設計画により、長寿命化を図りながら今後も継続して活用してまいります。	建設部長	都市計画課
224	●男女共同参画の視点に立って、家庭・地域におけるしきたりや固定的役割分担意識の見直しや改革に向け、広報など啓発活動を充実します。	家庭、地域におけるしきたり、役割意識の根深さを感じています。従来の活動の他に、モデル家庭を設けてみてはいかがでしょうか。	モデル家庭の設定は、個人情報保護の観点等から実現は難しいが、より具体的な例示(ロールプレイなど)を活用し、啓発活動に取り組みたい。	健康福祉部長	人権・男女共同参画課
225	●行政、企業や地域活動等での方針決定過程への女性の参画の促進と人材育成を図ります。	女性参画の促進はもちろん賛成ですが、数だけ増やしてもあまり意味がないと思います。男女問わず能力で決めていきたいものです。(ちなみに、LGBTQ(心が女子、心が男子)の方はどちらに入っていたideくのですか?)	本市においても、参画率の数値だけでなく、男女問わず意欲や適性などにも配慮していきたい。LGBTQの方については、個別に本人の意思を尊重した対応をしたい。	健康福祉部長	人権・男女共同参画課
226~229	●農業、商工観光業などの自営業における環境整備を進め、女性の社会的地位向上を図ります。 ●「事業主行動計画」の策定とともに、職業生活と家庭生活が両立しやすい働きかきができる職場環境の整備を働きかけます。 ●子育て支援体制、介護福祉支援体制の充実を図り、男女が仕事と家庭・地域生活が両立しやすい環境づくりを進めます。(総合戦略3-4②③) ●パートナーに対する暴力からの救済、相談体制の充実と暴力をなくす運動を展開します。また、男女の性に対する教育と生涯にわたる健康づくりを支援します。	【男女共同参画】 項目の担当課再検討は事業計画そのもの見直しと異なるもので事業は継続すべきと考える	第3次計画への方向性として、担当課を再検討するために見直しとした。事業そのものは、今後も継続が妥当と考える。	健康福祉部長	人権・男女共同参画課
236	●市民一人ひとりが、人の尊厳を大切に、人権と平和を守る地域社会をつくりあげるため、地区人権教育研修会の支援をはじめ、企業・団体などの人権教育研修会の充実、指導者養成講座の充実を進めます。	平和のつどい(協働事業)の今後については、市民や関係団体と話し合いをしてもらいたい。	市民や関係団体と話し合いをしながら、今後の方向性を再検討していきたい。	健康福祉部長	人権・男女共同参画課
237	●人権教育集会所を活用して地域住民の参加・交流など相互理解を促進し、人権意識の高揚に努めます。	【人権教育集会所の施設管理】 全ての施策が地元への譲渡または廃止なのか、例えば有効利用されていない施設の廃止はともかく、今井町の人権はつつセンターも廃止なのか。今井町区に譲渡なのか。	千曲市公共施設個別施設計画に基づき、人権ふれあいセンターは、維持管理していく予定である。その他の施設(人権はつつセンター除く)については、現在、人権集会所としてはなく、地元の方が地区活動に使用しているため、地元と協議を進めながら、地元への譲渡または廃止の方向で検討している。人権はつつセンターについては、千曲市公共施設個別施設計画(令和3年3月策定)において、当面は現状維持しながら在り方について検討することとしております。	健康福祉部長	人権・男女共同参画課 高齢福祉課
243 244	●「地域福祉計画」に基づき、市民一人ひとりが福祉に対する理解を深め、互いに支え合う心の通った地域福祉社会確立に向けた体制づくりを進めます。 ●地域福祉の総合的な拠点機能を持つ施設の存続・充実に向けた検討をします。	【心が通じる地域福祉を確立】 地域共生社会の実現に向けては、昨年6月成立、今年4月施行された「地域共生社会一括法」に基づき、既存の相談支援等を活かしつつ、地域住民の複雑・複合した困難への支援ニーズに対し包括的な支援体制の構築するために、新たな事業及びその財政支援等の規定を創設すべきと考える。	第3次地域福祉計画の推進施策2-1に記載したとおり、複雑・多様化する課題の場合には、各分野の専門職員により支援方針等を協議しながら適切に対応してまいります。	健康福祉部長	福祉課
253	●新型インフルエンザなどの感染症に対し、その予防と正しい知識の普及を図り、まん延を予防します。	予防医療について医療福祉大学と連携したセミナーを開催したらどうか(千曲市と大学が協定)	市民の予防医療への意識向上のため、前向きに検討したい。なお、平成29年度に高齢者用の健康寿命延伸体操「あんぬいきいき体操」の創作では、医療保健大学の学長に監修をいただくなど、連携していただいた経緯がある。	健康福祉部長	健康推進課
262	●第一次、第二次、第三次救急医療体制がしっかりとその専門性を発揮するために、第一次のかかりつけ医の普及を図ります。	【かかりつけ医の普及】 市内の第一次救急・第二次救急の医療資源を若者定住への一環として広く啓発活動したらどうか	かかりつけ医の重要性及び市の救急医療の体制について、わかりやすく市民に周知したいと考えます。	健康福祉部長	健康推進課
267	●高齢者の健康増進や教養の向上、高齢者同士や多世代の交流など、生きがい活動を通じてその能力を生かし、意欲や目標をもって社会参加ができるよう支援します。(総合戦略5-2①、③)	高齢者が心穏やかに過ごせる学びを増やしていきたいです。老人大学ももっと頑張ってください	引き続き当大学の開催に向け、周知してまいります。	健康福祉部長	高齢福祉課
286	●障がい者が住み慣れた地域社会で安心して生活を送れるよう、「障害者計画」「障害福祉計画」に従い、生活環境の整備を継続して進めるとともに、各種サービスの充実を図ります。	65歳未満の若年層の福祉を充実させていきたいです。	障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活ができるように、各種サービス提供体制を維持・継続していくとともに、地域内における課題については、地域自立支援協議会で協議を重ね、包括的な支援体制の構築に向けて進めていきたいと考えています。	健康福祉部長	福祉課
287	●千曲市生活就労支援センター(まいさぼ千曲)の充実を図り、生活困窮者の自立に向けた支援に努めます。	相談件数が増えているようだが、その数が全体と捉える方もいる。実態としては、恥だと感じたり、知らなかつたりして訪れない場合もある。また、貸付制度には無理があり、生活費が賄えないから支給が必要で、返済は難しいため、利用しないことが多い。制度の見直しが必要。※新型コロナウイルスで制限され、対象にも入らない事業者も迫り込まれている。	「まいさぼ千曲」は福祉課内に窓口を設け、専門の支援員が相談を受け、各種支援機関との連携対応、窓口への同行支援、生活保護受給への速やかな連携等、「ワンストップ型相談窓口」を実施しています。複数回に及ぶ相談が多く令和2年度新規相談者は513人で、気軽に相談できるよう電話による相談も受け付けております。また、「生活福祉資金貸付」相談は社協に案内していますが、この制度は国に準じており償還まで措置期間を設けるなど利用者に配慮されています。	健康福祉部長	福祉課

管理番号	具体的施策	質問・要望内容	回答	担当部長	担当課
303	●総合防災訓練や地区防災懇談会などを開催し、市民の危機管理意識の高揚を図ります。(総合戦略4-5①)	河川のみが先行して、土砂災害については各区や自治体に委ねられているが、情報の共有や、それらを取り上げる切実さが担当課に足りない。 各地で現実に行き起きていることを真摯に受け止めて対策を図るべき。 ※展示されていた、中学生作成の避難図を見て活用できると感じました。 専門家の理屈も必要ですが、近所の子供達の成果は住民の心を掴む！	降雨による河川の増水、氾濫及び土砂災害の危険性について防災ガイドブック等により周知しているところです。 時間が経過すると防災意識が薄れがちですが機会がある毎に市民の皆様に対し防災意識向上の啓発に努めてまいります。	総務部長	危機管理防災課
305	●要支援者、要配慮者に対する災害時の支援体制を充実します。	女性の支援者を増やして、女性などの要支援者の体調の変化に気を配っていきたくです。女性特有の困りごとは男性には言いにくいのです。	避難場所、避難所では、男性・女性問わずパーテーション等により、避難者のプライバシー確保と新型コロナウイルスの感染リスクの低減が図れるよう避難所の資機材の充実に努めています。 また、避難場所、避難所には保健師や女性職員を配置し、相談しやすい環境づくりに努めてまいります。	総務部長	危機管理防災課
308	●デジタル防災行政無線の整備を進めます。(総合戦略4-5②)	行政側の対策だけではなく、市民への無線活用が必要だと感じる。 各家庭への連絡は拡声式だと音響の関係で正確に聞き取れない！ ラジオを活用した電波帯域の拡充や、スマホや電話でも音声受信できるような方法を検討してもらいたい。	屋外告知放送による周知の他、屋外告知放送と同様の内容をメール形式で携帯電話へ送信する千曲市メール配信サービスへの登録をお願いしています。 また、希望する要配慮者には戸別受信機を備えて屋外告知放送が聞き取り易い環境を整えています。	総務部長	危機管理防災課
310	●防災施設や関連資機材を計画的に整備し、災害に備えます。	有事、避難所指定の学校の中で、マンホールトイレが配置できなかったという東小学校の件はどうなりましたか？	東小学校区内の下水道は、農業集落排水施設のため、マンホールトイレ設置には多額の費用が生じるため、災害用の簡易トイレなどの災害備蓄品の充実に努めてまいります。 今後、公共下水道接続の際には、設置について検討してまいります。	総務部長	危機管理防災課
313	●木造住宅の耐震化対策を推進します。	住宅の耐震化は自己負担が伴うため難しいと思う	耐震診断は無料で行っており、耐震改修については、平成31年度より補助率を50%から80%(上限100万)に引き上げています。 また、令和3年度より代理受領制度(市が交付する補助金について、所有者に代わって耐震改修工事を実施した施工業者が受け取ることができる制度)を実施しています。この制度を利用することにより、所有者は耐震改修工事から補助金額を差し引いた額を用意すればよいので、工事費の負担軽減につながります。(今までは、所有者が施工業者に全ての支払いが行ってからでなければ補助金を受け取れなかった。)	建設部長	建設課
320	●交通安全施設の計画的な整備を国・県などと協力して進めます。	区長会長から危険な交差点の矢印信号設置を何度も市へ求めているが、保留の状態となっている。予算枠の方が命より重要視されているのか？ 長野市では危険箇所点検評価を年ごとに行っているようだが、千曲市では実施されていない、状況把握できているのか疑問に思う。	信号機の設置等の交通規制は、警察の管轄業務となります。市といたしましては、地域(区・自治会)からのご要望に基づき、千曲警察署へ要望書を提出しています。要望後、警察署及び警察本部において調査を実施したうえで、公安委員会で承認される必要があります。 現状では、各区・自治会からのご要望により、危険箇所の状況把握に努めています。	市民環境部長	生活安全課
321	●通学路や幹線道路に歩道の設置を進めるとともに、段差解消などのバリアフリー化を図ります。	急速に住宅の建設が進んでいる住宅街では、交差点等の見通しが悪くなっている。特に嵩上げた住宅街では、交差点の見通しが悪く交通事故の可能性が高い。一時停止等のラインや標識を設置する必要があると思います。	地域の要望や意見をもとに、現場状況を確認し必要に応じてラインの設置等について対応してまいります。	建設部長	建設課
321	●通学路や幹線道路に歩道の設置を進めるとともに、段差解消などのバリアフリー化を図ります。	市役所から戸倉方面の道(伊勢社)の街路樹が道路にはみ出ている危険です。街路樹の定期的な剪定や、消毒が必要だと思います。	定期的に街路樹の剪定・消毒作業を実施しております。なお、剪定につきましては、7月中旬の実施を予定しております。	建設部長	建設課
332	●地域住民や各種団体などとの協働により、公園・緑地の整備や維持管理・清掃活動などを進めます。	公園整備には地域住民の理解が必要です。高齢化社会の中で効率的な運営が求められています。今後は公園の必要性なども議論すべきです。	公園整備にあつては、地域要望のみならず、市内の公園整備状況を勘案して公園整備を実施しているところでありますが、ご意見のとおり、公園整備には地域住民の理解が必要と考えており、地域住民などの恒久的な協働と参画により維持管理、清掃活動を実施いただける公園を整備してきております。	建設部長	都市計画課
336	●区や自治会など市民が主体的に行う植栽などを支援し、緑化意識の高揚を図ります。	昔と違って、市民は生活を回すだけで精一杯なのに拘らず、各地区で植栽を手入れすることは現実として困難です。 ※地区の運動会ですら参加が難しく、半ば人情で支え合っていることを考えれば、それ以上の事をするのは無理があると判るはずです。	緑の基本計画の緑化推進事業は、市報等で参加団体を募集し、緑化活動にご協力いただく自主的な取り組みを支援しており、一定の事業の推進が図られていると考えています。	建設部長	都市計画課
339	●県営・市営水道ともに水道水の安全・安定供給を図り、健全経営に努めます。	市民の節水のために、水道料金が減収しているのも収益悪化の一因だと想像します。エコによる減収＝経営悪化については、どのように考えていますか。この点も赤裸々に述べた方がよいと思います。	水道料金の減収には、節水による水道使用量の減少が少なからず影響していると考えますが、一人一日平均給水量の変動が大きくないことから、一番大きな要因は給水人口の減少と考えています。 水は限りある資源ですから、大切にお使いいただき、安定した水道水の供給のため、無理のない節水にご協力をお願いします。	建設部長	上下水道課
339～341	●県営・市営水道ともに水道水の安全・安定供給を図り、健全経営に努めます。 ●市営水道施設の適正管理を行い耐震化・長寿命化を図ります。 ●隣接事業者との広域化について検討を行います。	【上下水道の安定供給と市営水道ビジョン】 水道法の原則に基づく市営水道のビジョンを作成し、その上で効率化を含めた広域化の検討をすべきと考える。(広域化:長野市の一部、千曲市、坂城町、上田市の一部)	現在の千曲市市営水道ビジョンは、平成22年2月に策定し、平成22年度から平成31年度までの10年間の水道事業の総合的指針を定めました。 令和2年度以降については、本来であれば次期「水道ビジョン」を策定し、健全な事業経営のために新たな計画に基づいて事業を推進していく必要があります。 しかし、これまで長野県企業局との広域化(連携、統合)について協議を進めている中で、長野県企業局との広域化の判断は、今後の千曲市水道事業の経営に大きく影響することが見込まれるため、次期「水道ビジョン」について、長野県企業局との広域化を踏まえた計画策定となるよう、現在の「千曲市市営水道ビジョン」の計画期間を延長し、施策を継続実施することとしました。 広域化・広域連携の検討については、今後、長野県企業局、長野市、上田市、坂城町と、地域にふさわしい水道事業のあり方について具体的な検討をすすめて行くことから、次期ビジョンは、その検討内容を踏まえて策定する予定です。	建設部長	上下水道課

管理番号	具体的施策	質問・要望内容	回答	担当部長	担当課
348	●工場排水や生活排水などを監視するとともに県や関係機関と連携を図ります。	工場以外に、個人飲食店の雑排水の監視はどうなっていますか。食用油等、流していませんかでしょうか。	個人の飲食店については、調査を行っておりません。下水道普及率が高いため、ほとんどの飲食店で下水に放流していると考えていますが、下水接続がされていない店舗で、水質汚濁、異臭等あれば、長野保健福祉事務所と連携し指導しています。	市民環境部長	環境課
355	●長野広域連合が計画するごみ焼却施設の建設推進を図ります。	長野広域連合B焼却施設についての説明を、 ①現在の進捗状況 ②施設の特徴、特にごみを燃やした熱の利用 ③災害対策など どんな施設ができるのか知らないという市民が大勢います。	①6月末時点での工事進捗率は68%となっています。 建物の建設工事は今秋に、外構工事は今年度末に完成予定です。B焼却施設でのごみ受け入れスケジュール等について、市報8月号に掲載を予定しており、今後も市報、HPにて市民への周知を図る予定です。 ②ごみ焼却により発生した熱を利用し、ボイラーで蒸気を発生させ、タービンを回転させることにより発電機で電気を作ります。電気は、場内施設で利用し、余った電気については売電します。 また、発電以外では、余熱を利用し、温水(約80℃)を作り、B焼却施設の附帯施設である「千曲市余熱利用施設(令和4年6月開館予定)」にて、シャワーや浴槽に使用します。 ③避難所(洪水以外)として指定予定です。	市民環境部長	廃棄物対策課
363 364	●不法投棄されない環境づくり(看板・柵・監視カメラ等の設置)を進めます。 ●不法投棄防止パトロールを強化します。	堤防道路も不法投棄の温床になっています。環境づくり、パトロールの強化が必要かと思えます。	不法投棄が多く見られる堤防道路・河川敷・林道等を中心に、防止パトロールを1班2人体制で年間144日実施しています。堤防道路については特に人目につきますので、パトロールの頻度を高くしています。 今後も地元区・自治会や千曲警察署、長野地域振興局等と連携協力しながら、捨てさせない環境づくりに努めてまいります。	市民環境部長	廃棄物対策課
369	●チェックシートを活用したCO2削減の取組を推進します。	とても良い取り組みと思っていました。廃止とあり、児童への負担を減らすためと書いてありますが、今後児童への環境活動の推進はとても大切だと思います。チェックシートへの取り組みは行わないとありますが、何かそれに代わる取り組みが必要と考えます。	現在、各学校で環境教育に取り組む学年に環境冊子(取り組みの記録を記入する箇所あり)を配布し、希望する学校には冊子等を活用した環境学習を実施しております。また、水生生物教室や、環境に関する研究作品(夏休みの研究)の展示会を開催するなど、児童への環境活動の推進を行っています。	市民環境部長	環境課
370	●地域に密着した公害監視員体制を充実させ、日常生活における公害等を未然に防止します。	【環境調査等の充実】 各区・自治会の公害監視員は家庭からの廃棄物の監視が十分できているか疑問で対策が必要と思う。企業活動による排(廃)水・温風の調査・監視は行われているか。	公害監視員並びにごみ減量等推進委員について、年1回の研修、視察を行い、啓発に努めています。疑問が生じることがあれば、担当に詳細をお知らせいただくと幸いです。 また、一定程度の規模の企業に対しては、年1回排水(水質)の調査を行っています。	市民環境部長	環境課
386	●名勝「埴捨(田毎の月)」をはじめとする、市内の指定文化財の保存・継承を図ります。	文化遺産の麓に遊興施設を考えるのは、市が許可に対する権限がないにせよ、景観や風紀として相応しくないことは明らかで、農業研修場や文化交流施設にした方が、よほど出入りが見込まれる。	令和2年に「月の都 千曲」が日本遺産に認定をされたことから、引き続き指定文化財等の保存と継承を図ってまいります。	教育部長	歴史文化財センター
399 400	●千曲川流域市町村や関係団体と連携し、水辺環境の保全と活用に取り組めます。 ●学校や環境団体と連携し、国土交通省と市で整備した「水辺の楽校」などを活用した環境教育を進めます。	【千曲川の保全・活用】 千曲川の魚類の生息が乏しくなり、市内の中小河川においてはほとんど見られない、豊かな自然環境を取り戻す計画が求められると思う。	河川管理者である国は、令和元年度東日本台風災害の対策として、千曲川緊急治水プロジェクトを実施中です。災害対応に目途がついた段階で、国に肥沃な川に戻す計画を立てるよう陳情する。市としては千曲川に流れ込む支流の水質調査を継続して行っていく。	市民環境部長	環境課
401	●河川の浄化やオオヨシキリなどの鳥類を保護するため、ヨシ原やヤナギ類など河畔林の復活を進めます。	前回の水害の被災者は、千曲川の中州に生えている樹木が、水の流れを更に悪くしていると感じています。堤防決壊等が発生しないよう、早期の伐採を県、国に働きかけて欲しいと感じています。	川の流れを阻害する箇所につきましては、市としても治水対策に有効と考えており、河道掘削と併せて国に要望してまいります。	建設部長	都市計画課
403	●せぎ深いやごみゼロ運動、千曲川クリーン作戦など、市民、事業者が率先して行う地域の環境活動に取り組めます。	【千曲川クリーン作戦】 コロナで2年間未実施であったが、中学生の参加は意味があり、規模の検討はあっても事業の継続は必要と思う。	令和2・3年度の千曲川クリーン作戦については、コロナ禍の影響もありますが、令和元年東日本台風災害の影響があり、河川事務所と協議の上、河川敷内の作業の安全が確保できなため中止の決定をしました。 今後、河川の状態等を勘案しながら、事業の規模やあり方について検討してまいります。	市民環境部長	廃棄物対策課
403	●せぎ深いやごみゼロ運動、千曲川クリーン作戦など、市民、事業者が率先して行う地域の環境活動に取り組めます。	約60年前は、業者が堆積土砂を特に届出なしでも自由に運び、有効活用していたようで、このことが保全につながっていた。 近年では規制が掛かり、作業ができずに底面が上昇して悪化している。 国や県との条件の緩和で、有効に活用する方法を見い出せないか？	※建設課事業推進係にて回答作成 千曲川と犀川は、昭和45年4月1日に用途指定河川に指定され、砂利等の採取に関する規制が行われています。千曲川においては、河川整備計画にて流下能力確保のため、河道掘削が位置付けられており、また、現在は、令和元年東日本台風出水による被害軽減に向けた治水対策推進のための緊急治水対策プロジェクトにおいて、河道掘削が実施されています。国では、砂利採取により流下能力確保及び河道掘削事業の進捗にも繋がることから幅広く河床材料を利用できるよう用途規制の指定を廃止し、流下能力不足区間を中心に砂利採取を計画的に許可していく方針としています。河川管理者へ確認したところ、規制計画に基づき河川管理施設に影響がない掘削作業については、申請により許可をしているとお聞きしています。	市民環境部長	廃棄物対策課
406 407	●ホタルの保護活動など、ホタルの住める環境整備を進めます。 ●在来淡水魚の生息環境の整備を図ります。	ホタル・トンボ・ジャコウアゲハなどが住める環境を保護・整備している皆さんより、「相談する窓口がわからずに大変苦労しています」とのこと。 市民・市・県は情報の共有などの仕組みづくりを進めてください。	まず環境課へご相談いただき、内容により関係部署をご案内します。また、生物の保護等に関する専門的知識を有する相談は、県と連携を図っていきます。	市民環境部長	環境課

管理番号	具体的施策	質問・要望内容	回答	担当部長	担当課
420～422	●特産品を郷土料理の材料として地域での消費を進めます。 ●農業者や関係者と連携し特産品や郷土料理など保護・伝承を支援します。 ●市民や食文化伝承活動団体を支援します。	【郷土料理の伝承】 学校給食に活用し、消費と伝承につなげられないか。	おやきやしょうゆ豆を学校給食の献立に取り入れております。また地元(県内・市内)の農産物や加工品の食材使用にも努めております。	教育部長	給食センター
428	●市民も公共サービスの担い手となる「新しい公共」の取組を進めます。	【市民参加と協働の推進】 市民も公共サービスの担い手となる「新しい公共」、「住民自治」の確立を図るには「地域分権」という「自治意識」が必須で、その醸成には時間がかかる。見直しは否定しないが、規模感・レベル感のバランスはどういう意味か。	基本目標6は、「協働で創る、市民主体の住みたい住み続けたいまち」の施策の項目として、「6-1-1市民参画と協働のまちづくりを進める」があり、その中の具体的施策の一つとして、「市民も公共サービスの担い手となる「新しい公共」の取組を進めます。」という構成となっています。「協働」と「新しい公共」という似たような意味を持つ言葉が出てきますが、「新しい公共」の方がより広い意味での行政と地域・市民との関係を定義する言葉であるにもかかわらず最下層にあるため、規模感・レベル感のバランスを欠いていると考えられることから、第三次総合計画において見直していきたいと考えています。	企画政策部長	市民協働課
436	●「地域づくり計画」制度を協働の理念に沿った仕組みの中で定着が図られるよう見直しを行い、広範な市民の参画による地域の主体的なまちづくりを育てます。	【市民の主体的「地域づくり活動」】 区長・自治会長の1年交代が多い中、事業への理解度に差があることから、見直しは理解するが「新たな単位による地域づくり組織の創設」とは何か、またその機能や制度の集約とはどういうものか。	現在、地域づくり活動は区・自治会主体で行っており、市の支援制度も各種補助金や制度が並んでしています。また、地域課題も複雑・多様化し、行政だけ、地域だけでは解決が困難な状況となっています。 市では、全国的に設立・運営が進められている「地域運営組織」の創設に向け調査研究をしています。地域運営組織とは、区・自治会の枠に捉われず、例えば小学校区単位で、地域住民が主体的に地域課題を解決していく新たな住民自治組織です。 これに向け、現在の地域づくり活動に対する支援のあり方を、「ひと・もの・かね」の観点から総合的に見直し、再構築します。	企画政策部長	市民協働課
438	●地域の課題を解決するための組織として、区・自治会の枠にとられない新たな単位としての体制確立に向けた機運を高めます。	区長、区長連合会会長の報酬値上げについて、かねがね、小生がその任に当たっている時にも様々な場面でお願ひしてきました。充分な労働対価を与えないと引き受け手がなくなる恐れあり。安く人を使おうなんでもってのほか!! なんとかして前向きに検討していただき配慮をお願いしたいと思う。	現在検討を進めている地域運営組織(上記、君島委員質問への回答参照)では、区長・自治会長(行政推進委員)に依頼している事務も含め、どのような機能・役割を担うかを検討していきます。 これに併せ、行政推進委員の報酬についても総合的に検討します。 なお、区長連合会会長の報酬については連合会として決めているものですので、必要に応じて連合会の議題として取り扱います。	企画政策部長	市民協働課
441	●職員の企画力・職務遂行能力の向上を図ります。	市長含め、肩書をつけた呼び方ではなく、全て「～さん」で呼び合う方が、自由に意見の言える職場、雰囲気になると思います。既に実践していたら、すみません。	職場内の一定の緊張感を保つためにも肩書で呼ぶことは必要と考えます。管理監督職にある職員は常に風通しの良い職場環境づくりに努めております。	総務部長	総務課
446	●職員定員管理適正化計画に基づき、職員数の適正化を図り人件費の抑制を進めます。	要因分析は、正しく行ってください。人手不足になってしまったら本末転倒なので。	都度、事務改善をする中で新たな事業にも適正な人員配置に努めます。	総務部長	総務課
446	●職員定員管理適正化計画に基づき、職員数の適正化を図り人件費の抑制を進めます。	【職員定員管理の適正化】 公共サービスを提供する行政として恒常的業務を担う職員に非正規を採用することは官製ワーキングプアをつくる。現在非正規職員は何人いるのか。またその職種はどういうものなのか。	令和2年4月1日より嘱託臨時職員から会計年度任用職員に移行し、期末手当支給、休暇等の待遇がこれまでより拡充されました。(R3.7.1現在:669人) 内訳 ・フルタイム会計年度任用職員:32人(保育士、保健師等) ・パートタイム会計年度任用職員:637人 (正規職員の育休代替、一般事務補助等)	総務部長	総務課
463	●IoT技術の研究・導入を図り、効率的かつきめ細かな市民サービスを実現します。	大容量の通信技術が可能な時代に配信が断続画像で、現在状況が全く判らないため、即時の対応がしづらい。緊急時は動画に切り替えるなどして対応すべきだと考えられる。	水路監視システムは、省電力かつ長距離通信が可能なLPWAの特性を生かして構築しています。大容量通信には適さないため動画を配信することはできませんが、水位上昇時には配信画像の更新頻度を高める仕組みになっています。	企画政策部長	情報政策課
465	●継続的なセキュリティ対策の実施に加え、新たなマルウェアなどの脅威への対策を研究・強化します。	毎年、職員に対してセキュリティ教育を実施すべきと思います。	毎年、情報セキュリティを中心とした内容の研修を実施しています。	企画政策部長	情報政策課
その他		新しい試みがスタートしました。 兄弟が特別支援学校に通っている場合、PTA役員などの学校の役による親の負担が大きい。(普通校に通っている兄弟の分の役員もあります) 小・中とPTAが連動しているので、そこにPTAの組織が違う支援学校も入れていただくようにしました。組織が別のPTAが協力できるようにしました。これから広めていきます。	このような取り組みが広がることを願います。	教育部長	教育総務課

管理番号	具体的施策	質問・要望内容	回答	担当部長	担当課
その他		<p>全体を通じて、次期計画への方向性の「継続」と「見直し」の境界が分かりにくく、方向性が読み取りにくい。各担当課と関係課において検討し、各施策の成果、必要性等から判断した結果と理解しているが、「継続」の中にも、施策評価a/b/cがあり、方向性の意味合いは個々に異なり、また濃淡があると思われる。この点について、次回審議会にて補足ご説明頂けると、広く理解の助けになるのではないかと。</p> <p>あわせて先んじて申し上げれば、第3次計画策定方針の基本的視点に即して、どのような観点で「見直し」たり「継続」検討を行うのか、そこそが重要。どの施策も、今後ますます予算、人員が限られていく中で、成果(アウトカム)を最大化する具体策に知恵を絞って頂きたい。「見直し」「継続」の内実の具体的検討に際しては、①「その施策の成果によって持続可能性が高まるか」という横断的視点を意識すること、②「行政だからこそ成しえること(行政にしかできないこと)を明確にすること、を提案しておきます。</p>	<p>本検証の目的としては、各課において実績・成果を見定めたくうえで方向性を示し、しっかり今後の課題や方向性の理由を明記することで、次期計画の施策が明らかになることを期待しましたが、委員ご指摘のとおり「継続」と「見直し」の境界について各課・各施策により異なってしまった点は事務局として反省すべきであります。</p> <p>また、継続の中の「a/b/c」の異なり方については、行政が行う事業には、成果がC(僅か)であっても継続しなければならない行政として必要な事業や、目的とした成果が出なければ中止する事業など、一概には推し量れない事業が存在しております。そして、この4年間でわずかな成果しか見られない事業も、あと一年で飛躍的に達成されるなどその事業の進捗状況も異なります。</p> <p>(企業誘致やインバウンドなどは地道な人脈の構築や宣伝が必要であり、Cでも継続する場合もある)</p> <p>委員各位からの質問・ご意見を踏まえ、修正すべきところは修正したうえで検証結果とし、次期計画(素案)には各課が明確な理由・根拠をもって策定を進めていきたいと考えます。</p> <p>そして、各課における素案作成時には、ご指摘のとおり「第三次千曲市総合計画策定方針での基本的視点」を示し、全課がそこに即して策定を進めていくことが肝要であると考えています。</p> <p>また、素案作成時には、各課に市長の方針、社会情勢、SDGsの理念を踏まえたまちづくり、各課の個別計画との整合を図るよう指示するとともに、市民・民間・行政が一体となって持続可能な千曲市となるよう施策を掲げていきたいと考えております。</p>	企画政策部長	総合政策課